学校番号	３０１７

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
校内名称	家庭			ユニット数	１．５	必選別	必
使用教科書	「新図説家庭基礎」　（実教出版）						
副教材等	生活ハンドブック　（第一学習社）						

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。
実習を通じて被服分野では基礎縫い、食物分野では食事を作る技術、保育分野では幼児への接し方が習得でき、それを活かして家庭や地域の生活課題を自ら解決する態度を育成する。
技術面だけでなく、他者の意見を聞き、主体的な考えを持つ事で、家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち､その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに､実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭･及び福祉､衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし､その解決を目指して思考を深め､適切に判断し､工夫し創造する力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉､衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 レポート 自己評価 相互評価 発表等	学習状況の観察 プリントの記述 レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 テスト 実技テスト 作品 自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 レポート 発表 テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、テスト（授業中）２０～３０％、実技テスト、作品、レポートなど７０～８０％程度です。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間考査まで	人とかかわって生きる 自分らしい生き方と家族	○人生80年を見通す ・青年期の生き方について考える ・自己を知る ・大人とは？ ＊グループワーク ・自立とは？ ＊グループワーク	○	○	○		a：各ライフステージの特徴・課題について、関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：青年期の課題について理解し、自立や大人に必要な条件などを考え、他者と意見を共有し深く考察している。 c：グループで意見をまとめ発表する技術がある。	授業観察 プリント 発表 作品 自己評価 相互評価
		○デートDV ○労働について考える ＊性別役割分業についてのグループワーク ○家族について ・結婚 ・家族と法律	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a：自分に起こりえるライフイベントとして主体的に捉え学習する態度がある。 b：社会的な課題がなぜ起こっているかを考え、解決を目指した考察を表現できている。 c：固定的な性別役割分業意識を見直し、男女共同参画社会の実現、ワークライフバランスについて検討する技術を身につけている。 d：デートＤＶ、家事労働、職業労働の特徴と性別役割分業意識との関連などを理解し法律についても知識を身につけている。	授業観察 プリント レポート

前期期末考査まで	食生活をつくる	★この単元は1年間に渡って学習する ○私たちの食生活 ・高校生の食生活 ・和食について ○調理の基本 ・食生活の安全と衛生 ・調理の基礎 ＊調理実習3回（5月～2月） ＊調理実技テスト ＊実験 ○栄養と栄養素 ・こどもの食事（後期） ＊離乳食実習	○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○	a：食事と栄養・食品、これからの食生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：青年期の食事の重要性、食事摂取量について考えられている。 c：基本的な調理技術を学び、健康で安全かつ環境に配慮した日常食をつくる技術を身につけている。 d：生涯を通じて健康で安全な食生活を営むことができる知識を身につけている。5大栄養素の働き、多く含む食品について理解できている。	授業観察 プリント 実習レポート 実技テスト 発表 相互評価
	衣生活をつくる	○衣服の機能 ○衣生活の計画 ・衣服の購入 ・衣服の洗濯 ＊洗濯をしてみよう ・衣生活と資源・環境 ○被服実習 ＊基礎縫いで作品制作	○ ○ 	 ○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a：衣服を着用する意味や快適な衣生活について自分の衣服について考える等主体的に取り組む姿勢がある。 b：環境にまで配慮し、衣服計画を考えることが出来きる。 c：衣服の着装、管理などについての技術を身につけている。 c：基礎縫いが出来ている。 d：衣服の素材や衣服の管理な科学的に理解し、衣生活を主体的に営む知識が身についている。	授業観察 プリント レポート 作品 自己評価
後期中間考査まで		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊家族に食事をつくる	○	○	○	○	a：ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について感心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b：生活上の課題を見出し、その解決を目指して科学的に探求し、表現している。 c：計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d：ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	夏休み中の課題と発表

	子どもとかかわる	○命の芽ばえとこども ・胎児の発育と母体 ・こどもの心身の発達 ＊赤ちゃん人形抱っこ ＊体験実習用名札づくり ＊幼稚園体験実習 ・こどもの食事 ＊離乳食実習 ・子どもの生活 ・親になることを考えよう ＊ワークショップ	○	○	○	○	a：子供の発達、保育について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：保育者とのかかわり、周りの人とのかかわりが重要であることが理解できている。 c：こどもへの関わり方を理解し関わる技術が身についている。 d：こどもの発達・保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント 実習レポート 発表 作品 自己評価
後期期末考査まで	消費者として自立する	○主体的な消費生活 ・多様化する販売方法と問題商法 ・契約のための制度・法律 ・多様化する支払い方法 ○経済的に自立する ＊マネープランのシュミレーション	○	○ ○	 ○	○ ○	a：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：消費生活と生涯を見通した経済計画・管理、生活設計について考え、工夫している c：消費生活と生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d：特に成人と未成年の契約について理解し、自立して経済活動に必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。